

<p style="text-align: center;">教育目標(めざす児童生徒像)</p> <p>夢や希望を持ち、学び合い、未来に生きる力を育む生徒の育成 (めざす生徒像) 将来への夢を持ち、実現させようと努力する生徒 ルールの大切さを知り、実行できる生徒 人権を尊重し、共に支え合い、高めあう生徒 身だしなみを整え、あいさつやそうじができ、時間を守る生徒</p>	<p style="text-align: center;">今年度の指導の重点</p> <p>キャリア教育の充実 心が通う生徒指導の充実 わかる授業、学び合う授業の創造と学力の充実 人権教育の充実 健康・安全教育の充実 心を育てる家庭・地域との連携</p>
<p>調査結果について(調査結果において明らかになったこと)</p>	
<p>【学力状況調査の結果】</p> <p>全国 国語A、国語B、数学A、数学Bについて県平均と比べて正答率が高い。 国語に関しては、言語についての知識・理解が高く、8割以上が文章の展開に即して内容を捉えることができているが、根拠を明らかにして自分の考えを書くことに課題がある。 数学に関しては、数式の計算や等式の性質については9割程度が理解できているが、関数の意味の理解について課題がある。</p> <p>県 国語、社会、数学の正答率が県平均をかなり上回ったが、理科については県平均並みとなっている。 国語、社会、数学、理科について基礎、活用ともに昨年度に比べて正答率が上がっている。 全教科を通じて、資料を活用したり、根拠を明らかにして自分の考えを表現したりすることに課題がある。</p>	<p>【学習状況調査の結果】</p> <p>家庭での学習時間(1時間以上)の割合が県平均に比べて多い。 全く家庭学習をしない生徒の割合は県平均に比べて低い。 学校のきまりを守っている生徒や、いじめはどんなことがあってもいけないことだと思っている生徒の割合が県平均に比べて高い。 「自分にはよいところがある」と思っている生徒の割合が県平均に比べて高い。 地域の行事に参加している生徒の割合が県平均に比べてかなり高い。 平日にゲームを1時間以上する生徒の割合が県平均に比べて少ない。 読書時間(30分以上)の割合が県平均に比べて多い。 近所の人に会ったときは、あいさつをしている生徒の割合が県平均に比べてかなり高い。 授業の復習をしている生徒は、正答率が高い傾向にある。 自分で計画を立てて勉強をしている生徒は、正答率が高い傾向にある。</p>
<p style="text-align: center;">成果と課題</p> <p>読書好きの生徒が多く、朝読書も定着しているので文章を読み取る力は伸びてきていると考える。 協同学習の導入により、徐々にではあるが教室に「学び」が増えてきている。 文章で解答する問題に対してあきらめずに取り組もうとする生徒が増えてきている。 適切な資料を選び活用することが苦手な生徒が多い。 根拠を明らかにして自分の考えを表現することが苦手な生徒が多い。 理科の学力をつけるための手立てを考え取り組む必要がある。 家庭学習の指導等に力を入れる必要がある。</p>	<p style="text-align: center;">課題に対応した改善方法</p> <p>毎日の授業の中でどの教科でも協同学習による「学び合い」の時間を設ける。 どの教科でも必要な資料を選別して活用しながら考えをまとめる活動を大切にする。 どの教科でも筋道を立てて書いたり表現したりする機会を増やす。 長期休業中や定期テスト前に補充学習の時間を設け学習習慣をつける。 理科では実験、観察等グループ学習の場を増やし、実験・観察の能力向上に努める。 学力・学習状況調査や学力到達度確認テストの問題を授業で活用する。</p>
<p style="text-align: center;">取組の検証方法及び検証時期</p> <p>協同学習を推進するために授業研究中心の校内研修を行い全員が授業公開をする。(2月までに) 学級委員会の活動を活発化して今以上に自主学習ノートを利用する。(学期ごと) 生徒へのアンケートの実施(2月) 上記の結果を受けて、改善方法の見直しを図る。</p>	<p style="text-align: center;">達成目標(数値目標)</p> <p>全教科の平均正答率が県平均を上回る。 家庭学習をしない生徒を0にする。 将来の夢や目標を持っている生徒の割合を9割以上にする。</p>